



# 第 68 号



2020 年度 秋号

#### 土木技術者女性の会 とは

#### 〈団体名〉

一般社団法人 土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers

#### 〈会の生い立ち〉

土木学会誌(1982 年 9 月号)紙上で企画された「女性土木技術者の座談会」がきっかけで 1983 年 1 月に発足しました。座談会の席上で、「日本各地で孤軍奮闘している女性の土木技術者が情報交換できるような会を...」ということになり、同誌紙上で呼びかけ、約 30 名でスタートしました。

創立以来、任意団体として活動してまいりましたが、2013 年 11 月 18 日(土木の日)に一般社団法人 土木技術者女性の会として新たに発足しました。

#### 〈会の目的〉

土木学会誌の座談会をきっかけにしていますが、女性土木技術者特有の問題をきめ細かく取り上げ対応していくために、独立した団体として活動しています。

女性技術者の質の向上と活動しやすい環境作りのために、次のような目的を掲げています。

- 1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
- 2. 土木界で働く女性技術者の知識向上
- 3. 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
- 4. 女性土木技術者の社会的評価の向上
- 5. 土木技術者を目指す女性へのアドバイス

#### 〈倫理規則〉

当会では次のような倫理指針を定めています。

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理指針を遵守するものとする。

- 1. 会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする。
- 2. 会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する。
- 3. 会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない。

#### 〈会誌「輪(りん)」について>

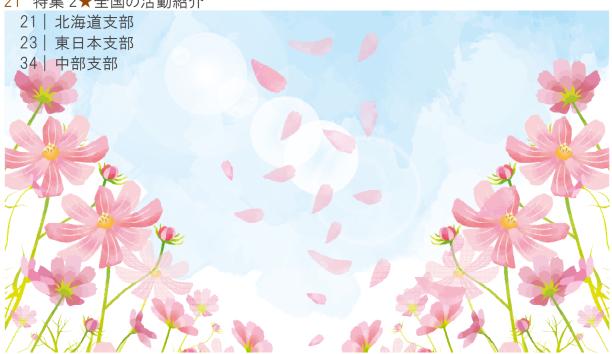
1983 年に開催された第 1 回総会にて、会誌の名前についても話し合いが行われています。

「輪」の文字は、「友達の輪」という発想より早々に決まりました。 そして、「りん」という言葉の響きの心地よさと会員同士のつながりを大事にしたい という思いを込めて名付けられました。

(1983 年 第一回総会議事録·参加者証言抜粋)

# 目 次

- 01 巻頭言: 牛山育子 ~コロナのただ中で~
- 02 特集 1★一般社団法人 土木技術者女性の会 第8回総会 開催報告
  - 03 | 一般社団法人 土木技術者女性の会 第8回 総会報告
  - 05 | 支部長's PRESENTS 2020 "非公式"意見交換会
  - 06 | ◎ 祝 ◎ 九州支部が設立しました!
- 09 一般社団法人 土木技術者女性の会 組織図 2020
- 10 理事・新任支部長の紹介 理事 南 朋恵/理事 水野香織/理事 佐藤亜紀子/理事 村上育子 理事 齋藤由紀子/理事 北原正代/北海道支部長 石井めぐみ
- 13 運営委員 退任によせて 渡邉弘子/山田菊子
- 14 サポーターコーナー vol.1
- 16 お知らせ
  - 16 一般規則が改定されました
  - 17 | 新会員管理システムへ移行しました
  - 18 | 「建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会」の提言書
- 19 ちょっと一息 :~家事効率化! おすすめ家電・アイテム~
- 21 特集 2★全国の活動紹介



- 18 | メディア掲載
- 18 | サポーターおよび新規会員募集
- 18 | 寄附制度のご案内 編集後記



# (ちょっと暗いタイトルですが) コロナのただ中で

会長 牛山育子

6 月の総会の議を経て会長に就任しました西日本支部の牛山です。これからどうぞよろしくお願いします。今総会で理事の人数も 7 名に増え、理事会を充実させることができました。多くの議論が迅速に話し合える環境が整ったと思っています。新しい組織体制になったばかりですのでご意見等があればぜひお聞かせください。

さて、今年の総会がそうであったように、新型コロナウィルスが方々に大きな影響を与えています。出入国の一時停止により、国内の都市部や観光地で外国人



をほとんどみかけなくなりました。これによるインバウンド需要の激減や、休業要請等による経済の落ち込みは、これからの日本に大きな打撃を与えることになりました。また、感染拡大防止のための新しい生活様式やテレワークの推奨により、私達の働き方を大きく見直す転機になっています。

家にいながらにして仕事をする、移動を伴わないため時間の節約になる。また、直接対面しないよう、ウェブ上で会議を行う。ウェブ会議ソフトは日本国内でも広く普及し、当会でも全国に散らばる会員を繋ぐものとして利用頻度が増加しています。

この原稿を書いている今、日本国内では一時期に比べれば患者数も落ち着いてきてはいますが、いまだコロナは全世界で猛威を奮っています。8 月には私の勤務する土木事務所でも感染者が出て、非常に身近な感染症であることを認識しました。1 名の感染によって、同僚のうち何名かは濃厚接触者として2週間の自宅待機となりました(検査結果は全員陰性)。2週間、業務が滞りかねないというのは、ある意味、災害対応に近い状況です。日々の業務を滞りなく遂行するということがいかに大切なことか、実感した出来事でした。

今年の 7 月豪雨や台風では、九州に甚大な被害が出ました。報道されていたように、大きく破壊されてしまった堤防や道路など、現地の状況を見ると、人々の生活を取り戻すためにも1日も早く復旧させなければと思います。改めて、被災された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、災害復旧に尽力されている方々には安全に留意し、従事されるようお祈りいたします。

災害が起こるたび、土木に携わる仕事は、誇りあることだと感じられると思います。人が生きている限り、土木の役割が無くなることはありません。特にこのコロナ禍においては、自分の果たすべき役割は何か、見つめ直す良い機会かもしれません。人が生活を営む上で、仕事を通して何ができるのか、働き続けるためにはどうすれば良いか。テレワークが普及した今、日々変化していく日常をうまく利用しない手はないと思っています。今後、テレワークは今以上に普及し、デジタル化はますます進んでいくでしょう。海外にいる人ともすぐそばにいるかのように会議ができる社会の発展は、当会としてもどんどん取り入れていきたいと思います。

ただ、これだけ進化した先に、アナログの良さを見直すこともありました。ウェブ会議は確かに便利で、遠くの人ともすぐにやりとりができ、議題の解決に向けた議論は円滑に進んでいきます。しかし、ほとんど無駄話がないことで、その無駄から派生する新しい案があまり浮かんでこないとも感じています。話すときの、相手の小さな溜息やちょっとした表情から読み取れる、隠れた意見を見いだせるのは、やはり直接対面しないと出てこないものなのではないかとも感じています。現場見学会もままならない今、現場の大切さ、対面で話すことの大事さを改めて痛感しています。

1日も早くこの状況が収まって、日常の活動が再開し、会員の皆さん同士が直接会って話ができる 状況になることを心の底から願っています。

# 一般社団法人 土木技術者女性の会 第8回通常総会

開催報告

担当:北海道支部

日にち: 2020 年 6 月 20 日(土)

2020.06.20 11:00-12:10

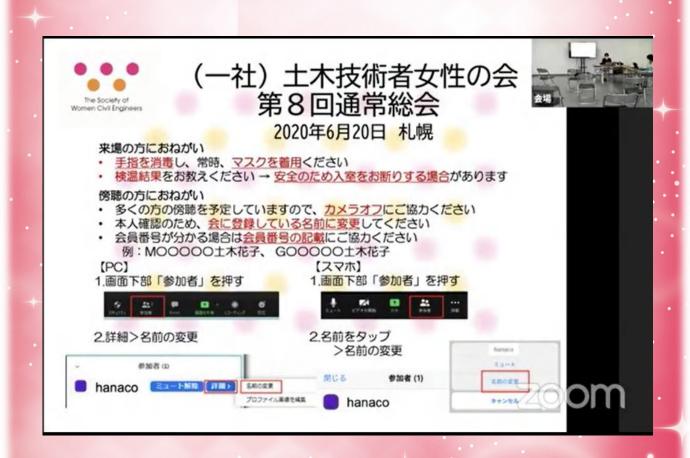
### 一般社団法人 土木技術者女性の会 第8回通常総会

株式会社シビテック本社 4階大会議室 … p.3

2020.06.19 19:30-21:30

支部長's PRESENTS 2020"非公式" 意見交換会

オンライン(Zoom)  $\cdots p.5$ 



# 一般社団法人 土木技術者女性の会 第8回 通常総会報告

日時: 2020 年 6 月 20 日(土) 11:00 - 12:10

場所:株式会社シビテック本社 4階大会議室

出席:2名 電磁的議決権行使による出席:117名 委任状提出者:1名 計 120名

(議決権のある会員数348名)

(一社)土木技術者女性の会 第 8 回の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会成立に最低限必要なスタッフ 2 名(北海道支部会員)のみが会場に参集し、役員(理事・監事)はインターネットや電話等によるリモートでの説明、会員の皆さんは事前の電磁的議決権行使(インターネット)や委任状と Web 会議システムによる傍聴という形での開催となりました。

これほど感染が拡大する前の 2 月中旬、北海道支部では総会準備を本格化すべく支部会員で打合せを実施し、開催までのスケジュールや役割分担、前日・当日の企画を話し合い、次回は支部総会で、より具体に詰めていくこととしていました。

しかし、4月の支部総会時には新型コロナウイルスの感染が全国に拡大し、理事会より総会関連イベントの中止と必要最小限の人員による総会の開催を依頼されました。そこで、当日スタッフとして2名のみが会場に出席して開催することとなりました。特別な方法での開催ではありましたが、第8回通常総会が開催できたことを感謝しています。

本総会は、少人数による準備時間の確保、感染リスク抑制のため接触時間の縮小などを考慮し午前 11 時から 1 時間程度の開催となりました。開催に先立ち、司会から Web 会議システムによる開催方法や注意事項について説明後、渡邉弘子会長からリモートによる挨拶がありました。挨拶の中では、総会開催への関係者への謝意と会員の体調への配慮、コロナ禍以降の生活様式や働き方の多様化を期待するという話がありました。

その後、議長を選出し、総会成立の報告と、本総会の議案が、会場参集者と電磁的議決権行使および委任状により出席した正会員の合計の議決権の過半数で成立する普通決議であることが説明され、総会の成立が宣言されました。

第 1 号から第 8 号議案について、会長が事前質問に関する回答を交えながら説明し、出席した正会員の議決権の過半数の賛成により、全て可決されました。続いて、第 2 号報告の運営委員の任命 (案)、第 3 号報告の会費減免制度の変更内容について報告されました。

次回の総会(2021年度)は第7回通常総会で決定している通り、中部支部が運営することが確認されました。次々回の総会(2022年度)は各支部の意向を確認し理事会にて決定する予定です。

総会閉会後、新旧理事から退任、就任の挨拶がありました。







【会場の様子】





# 議事次第

#### 開会

#### I はじめに

- 1 会長挨拶(渡邉弘子)
- 2 議長選出(北海道支部 山田菊子)
- 3 総会成立の宣言

#### Ⅱ 議案審議

- 第 1 号議案 理事選任について
- 第 2 号議案 2019 年度 決算報告
- 第 3 号議案 一般規則の改定について
- 第 4 号議案 倫理規定の廃止及び倫理規則の制定について
- 第 5 号議案 理事選出規程、個人情報取扱規程の廃止について
- 第 6 号議案 九州支部の設立について
- 第 7 号議案 2020 年度 事業計画
- 第 8 号議案 2020 年度 予算計画

#### Ⅲ 報告事項

- 第 1 号報告 2019 年度 事業報告
- 第 2 号報告 運営委員の任命(案)について
- 第 3 号報告 会費減免制度について

#### 次回・次々回総会開催の担当支部

次回の総会(2021 年度)は中部支部 次々回の総会(2022 年度)は各支部の意向を確認し理事会にて決定予定

#### 閉会

※総会の議事録は、当会ウェブサイトく会員ページ>に掲載しています。

報告:南 朋恵(北海道支部)

# 支部長's PRESENTS 2020"非公式"意見交換会

日時: 2020 年 6 月 19 日(金) 19:30 - 21:30

開催方法:オンライン(Zoom)

出席:27名

今回の総会は、感染症予防の観点から Web での開催となりました。それに伴い、例年総会前日に実施している見学会や懇親会が中止となりました。しかし、非公式ながら各支部長が発起人となって Web 懇親会を開催することになり、Web という特性上、海外からも参加表明がありました。当日は、北海道から沖縄まで総勢 27 名の方が自由に出入りをしながら様々な意見を交換しました。自己紹介やコロナによる影響、在宅勤務の状況にとどまらず、ドボジョと呼ばれることや女性職員の定着など真面目なテーマから好きな男性のタイプなどガールズトークにも花を咲かせました。地域定番のお店としてスガキヤなどが上がりましたが、私は「みよしの」という餃子とカレーのお店を紹介しました。北海道観光で豪華な海鮮に飽きたら、是非みよしのセット(560円)をお召し上がりください。

今回は残念ながら、海外からの参加予定者は参加できませんでしたが、次回は九州支部長の本田 顕子さんを幹事として、Web 懇親会を開催する予定です。その際は皆さまもご参加ください。



【開催状況(黄枠で囲まれているのが報告者です)】

報告:石井めぐみ(北海道支部)



# ●◎祝◎● 九州支部が設立しました!

#### 九州支部設立のご挨拶

九州支部長 本田顕子

このたび、九州支部長に就任しました本田です。6月20日の総会で皆さんにご承認いただき、新しく設立された「九州支部」について、ご紹介させていただきます。

まずは、支部会員の状況について。8月末の正会員数は24名で、所属機関や九州各県の状況は以下のとおりです。



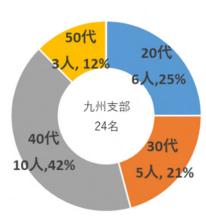


図1 年代別 会員の割合

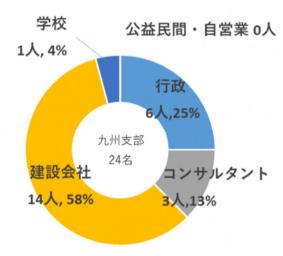


図2 所属機関別 会員の割合



図3 県別 会員数

#### 表 1 九州管内 サポーター団体一覧

- ・オリエンタル白石株式会社 福岡支店
- ・シビックアーツコンサルタント株式会社
- ·鹿島建設株式会社 九州支店
- ・一般社団法人プレストレスト・コンクリート 建設業協会 九州支部
- ·川崎地質株式会社 九州支社
- ·江上建設株式会社

「輪」2020年度 秋号 (第68号)

#### 次に、これまでの九州での歩みについて

2015年5月 九州地区で、初めての意見交換会開催

(この時点で、九州在住の会員は11名でした。)

2016年度 西日本支部に関西、中・四国、九州担当副支部長を設置

2017年1月 意見交換会開催

2017年11月 福岡県女性土木職と合同現場見学会

西鉄天神大牟田線(春日原~下大利)連続立体交差事業

2018年11月 筑紫野古賀線バイパス大隈高架橋(仮称)の現場見学会

品質管理試験等の見学会

2019年6月 意見交換会(支部化に向けた協議)

9月 夏の意見交換会(支部化に向けた協議)

11月 情報化施工(ICT 全面活用工事)矢部川鷹/尾地区現場見学会

2014年3月(私の入会時点)の九州在住会員は3名でした。地方にも遅れてドボジョブームがやってきたのか、徐々に会員が増えてきました。

#### 2019 年度の活動状況

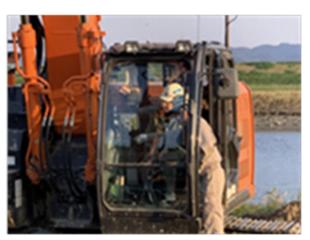


交流会は福岡名物"もつ鍋"で!



【夏の意見交換会】





【現場見学会】

続いて、支部役員を紹介します。

本田顕子 (行政:福岡県) 支部長 副支部長 佐伯亮子 (建設コン:熊本県) 副支部長 比嘉常美代 (建設業:沖縄県) 会計 植田文子 (行政:福岡県) 「輪」編集委員 高橋典子 (建設業:福岡県) 企画広報局員 下川 愛 (建設業:福岡県)

支部会員数 24 名の内、1/4 の 6 名が役員という高い割合になっています。九州支部では、在会歴が短い会員が多いので、相談しながら進めていける体制をとっています。



#### 最後に。

「2020 東京オリンピック」が開催される華やかな年の支部設立を夢見ていましたが、想像もしなかったコロナ禍の中での支部設立となり、思っていた船出とはなりませんでした。支部設立の記念行事も予定どおりに開催することは難しい状況ですが、Web などを活用して、まずは九州支部内のコミュニケーションを図るところから始めていきたいと考えています。イベントなどの企画力はまだまだ足りていませんが、他支部の活動を参考に九州支部の会員、サポーターの皆さんに興味を持って参加いただけるような活動ができるよう努めていきたいと思います。皆さまのご支援をよろしくお願いします。

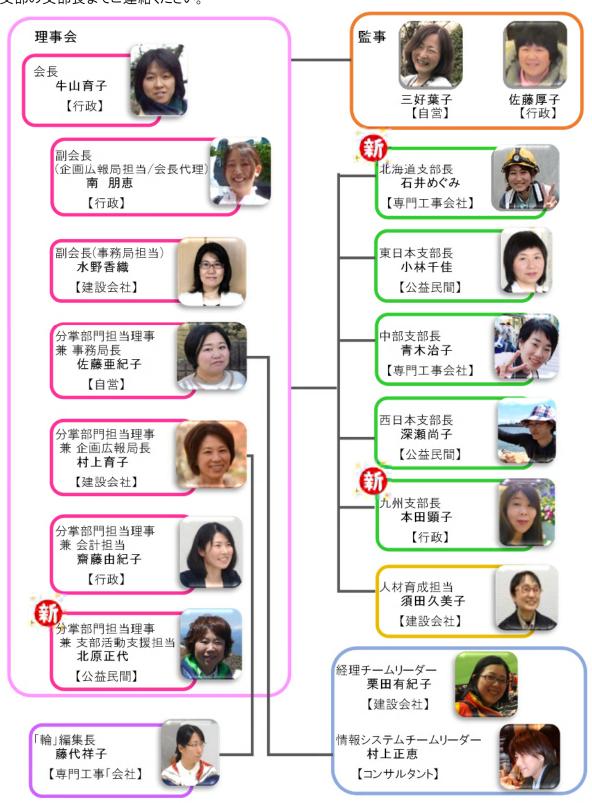


#### 「輪」編集委員より

2020年11月28日に、福岡県福岡市内にて九州支部設立記念行事が開催されました。詳細は、当会のウェブサイトに掲載されていますので是非ご覧ください。

# 社) 土木技術者女性の会 組織図 2020

2020 年度の運営委員をご紹介します。当会の運営は、このほかにも各組織・各支部に多くの有志に よるスタッフが所属し、支えられています。スタッフは随時募集していますので、興味のある方は所属す る支部の支部長までご連絡ください。



【●●】:勤務先業種



# 理事・新任支部長の紹介

今年度から理事が 3 名から 7 名に増え、新体制になりました。また、九州支部の設立や北海道支部長の交代がありましたのでご紹介します(会長は p.1、九州支部長は p.6 でご紹介しています)。





# 副会長(理事)就任にあたって

南 朋恵 (北海道支部→中部支部)

このたび、副会長(理事)に就任しました南 朋恵です。私事ですが 17 年勤 務した北海道開発局から 2020 年 4 月付で福井県へ転職、引越しすることに なり、所属支部も北海道から中部に異動しました。そして、当会での役割も北海道支部長から副会長(理事)となりました。今後ともよろしくお願いします。

北海道支部長に就任した際には、災害復旧現場を担当していることを書かせていただきましたが、あのころ以前も以後も、毎年のように全国のどこかで風

水害による土砂崩壊や河川の氾濫が発生し、多くの被害が発生しています。個人的には、その度ごとにハード対策による対応可能な範囲(あるいは限界)や情報提供による避難行動の変容など、「これからの土木担うべき役割」について考える機会となっています。そして、前職では道路事業を主に担当していたため河川(特に水防)に関する業務に接する機会がほぼありませんでしたが、現職では防災全般について学んでいく必要性を感じています。

現在、コロナ禍により、リモートによる他支部の勉強会に参加できる環境が整いつつあるので、今後は各支部活動や会員の取組みなどを当該支部内だけでなく、すべての会員へ情報発信、共有、参加する機運が高まればと感じています。





# **副会長(理事)就任にあたって** 水野香織 (中部支部)

6月の総会におきまして、理事に再任いただきました。これまで 2 年間理事として会の運営に関わっていくことで、日々の業務とは異なる、多くの貴重な経験をさせていただきました。会員管理、会費管理システムのクラウドサービスへの移行に際しては、会員の皆さまにはご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

引き続き、副会長(事務局担当)として、会員のみなさまが「カラフル・パワフル・ハートフル」に活動していただけるような会の運営を行うべく、佐藤事務局長や事務局の皆さんと一緒に考え、活動を行っていきたいと思います。また、新たに法務担当の任を担うことになりました。よろしくお願いいたします

現在、新型コロナウイルス対策として、新しい生活様式や働き方が求められています。会の活動も Web の活用など新しい形で進めていく必要があります。とはいえ、「土木が好き」という同じ心をもった 方々との出会いは、私にとってエネルギーの源です。お目にかかれる日を待ち望んでいます。 



# **分掌部門担当理事 兼 事務局長就任にあたって** 佐藤亜紀子(東日本支部)

このたび、事務局長(理事)に就任しました佐藤亜紀子です。よろしくお願いいたします。

はじめに、COVID-19 の感染拡大が続く中、ウイルスが身近に存在することを考えながら過ごさねばならない、新しい生活様式が求められています。できることを一つずつ積み重ね、みなさまがより良い「今」をお過ごしになるようお祈

り申し上げます。

さて、事務局では、本年3月に会員管理システムを「SMOOSY」に移行しました。そして、次年度からは ROBOT PAYMENT の決済代行サービスを利用し、クレジットカード、銀行振込での年会費の払込ができるようになります。会員のみなさまにも利便性の向上がますます実感できることと思います。また、専従の事務局員を持たない当会では、運営に携わるスタッフの事務作業量の削減が長く課題となっていました。これらシステム導入のメリットを生かし、活動しやすい事務局になるよう努めて参ります。

引き続き、みなさまからのご支援をよろしくお願いいたします。





# **分掌部門担当理事 兼 企画広報局長就任にあたって** 村上育子 (西日本支部)

2016年の新設当初から企画広報局長を務めてきました。就任した頃に、ちょうど「ドボジョブーム」が起こり始め、当会には取材や講演、パネリストやコーディネーター、執筆、TV 出演等の依頼が殺到しました。しかし、それも 2 年ほどで落ち着き始めた矢先、今度は機関誌や業界紙への寄稿や子どものための土木絵本の製作協力の依頼などが増え、会を取り巻く状況は年々変化してい

きました。各方面のメディアが飛びつくほど目新しい存在だった女性の土木技術者も、会の認知度が高まると同時に、様々な女性団体が設立されたことで、業界内外からの期待や、本来の技術者としての存在価値が高まりつつあるように感じています。

このたび、分掌部門担当理事兼企画広報局長に就任したことで、理事としての重責を感じています。 女性土木技術者の先駆者の皆さんが掲げられた 5 つの目的を受け継ぎ、次世代へ確実にバトンを繋 げられるよう、会の活動を支えながら、あらゆる女性土木技術者のキャリア継続に向けた環境づくりを一 番に考え、任期である 2 年間、与えられた任務を精一杯果たしていきたいと思っています。そして、4 年間に及ぶ企画広報局の業務で得たものを活かしながら、会員の皆さんと共に、次世代を担う人材の 育成や土木の魅力を伝える活動にも、引き続き取り組んで参ります。





# **分掌部門担当理事 兼 会計担当就任にあたって** 齋藤由紀子 (九州支部)

このたび、理事に就任しました齋藤由紀子です。

今年は、新型コロナウィルス感染症の流行により日々の暮らしや仕事に大きな影響が出たことに加えて、私が住む九州では 2020 年 7 月豪雨により大規模な洪水被害を受けました。まずは、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。ここ数年大きな災害が続いており、会員の皆さんの中にも各地



域で復旧・復興に従事されている方が多くいらっしゃるかと思います。私もその一人です。会での交流 が制限される状況ではありますが、互いに励ましあいながら頑張りましょう。

さて、先日の総会で理事の人数が増え、私は新しく設けられた「分掌部門担当理事 兼 会計担当」 を務めさせていただくことになりました。これまでは、運営委員(会計担当)として経理チームとともに決 算・会費請求・寄附収受などの業務にあたってきました。近年の会員数増加により、2020 年度に会員 情報・会費管理システムが導入され、経理チームの多大な業務もアウトソーシングが進みつつあります。 これからも、透明性・公平性を確保しつつ、安定して経理・会計業務が実施していけるように努めてい きたいと思います。

最後になりますが、2020年6月の総会で本田支部長率いる九州支部が誕生しました。災害発生で 苦難の門出となりましたが、九州は自然豊かで食べ物も美味しい地域です。新しい支部の一人として、 総会で全国の皆さんをお迎えし、楽しく交流できる日が訪れますよう願っております。

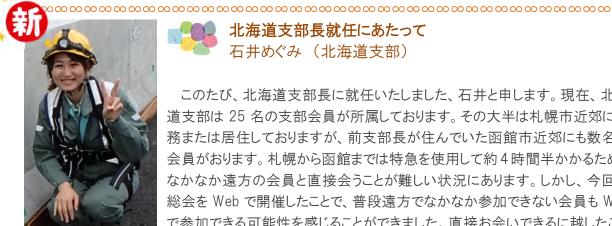




分掌部門担当理事 兼 支部活動支援担当理事就任にあたって 北原正代(東日本支部)

このたび、今年度新設された支部活動支援担当理事に仰せつかりました、北原 正代です。新型コロナウィルス対策により、集まることが難しい状況ではありますが、 オンラインや様々なデジタルデバイスを活用するなど新しい方法を試行しながら、 各支部がより活発に活動していけるよう、お手伝いできればと思っています。最近、 テレビの俳句番組を楽しみに見ているのですが、私も一句、ご披露します。「離れ

ても 心は密に 秋の空」。感染予防のため三密を避ける行動が求められていますが、会員の心をより 一層密に通わせて、秋の空のように広く、爽やかに支部活動が展開することを願いました。 これからどう ぞよろしくお願いします。(写真は安達太良山山頂にて2018年5月)





# 北海道支部長就任にあたって 石井めぐみ (北海道支部)

このたび、北海道支部長に就任いたしました、石井と申します。現在、北海 道支部は25名の支部会員が所属しております。その大半は札幌市近郊に勤 務または居住しておりますが、前支部長が住んでいた函館市近郊にも数名の 会員がおります。札幌から函館までは特急を使用して約4時間半かかるため、 なかなか遠方の会員と直接会うことが難しい状況にあります。しかし、今回の 総会を Web で開催したことで、普段遠方でなかなか参加できない会員も Web で参加できる可能性を感じることができました。直接お会いできるに越したこと はありませんが、Web などを使用しながら、今後ますます活発な支部運営をし

ていけたらと考えております。ふつつかものですので、支部の皆さま、諸先輩方のお力添えをいただけた ら幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

# 運営委員 退任によせて

新体制移行にあたり、前会長 渡邉弘子さん、前規則等整備 WG リーダー 山田菊子さんが退任されました。長年、当会のためにご尽力いただいたこと、改めて感謝申し上げます。





# やっぱりカラフル・パワフル・ハートフル!

渡邉弘子 (東日本支部)

6月20日の第8回総会をもって代表理事(会長)を退任しました。4年間支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。 改めてこの4年間を考えてみたら余りに多くのことが思い出され、本がシリーズで書けるほどです。

ですので、いちばん大切なこととして初めにこれだけはお伝えしたい。会の役職に就くことは、仕事や家庭や自分の生活がある中で決して楽ではありません。でも、苦労(とあえて言

4 年間の思い出を拾い書きしようかと思っていましたが、書き始めで書き終わりのようになりましたのでこれで終わりにしたいと思います。積もる話はそのうち酒(茶可)でも酌み交わしながら。

山ほどのメールをやり取りして、議論して、喧嘩して、笑って、たくさんのものを一緒に作ってきた、カラフルでパワフルでハートフルな仲間のみんな、本当にありがとう。これからも応援して、一緒に会を盛り上げていきたいと思います。





# 会社を離れても続けられる「場」を、これからも 山田菊子 (北海道支部)

1988 年頃に入会し30 年以上が経ちました。修士課程の学生だった頃、お隣の学科の先輩である山本美子さんから、「年に1回、宴会をする会だから、気軽にどうぞ」と、研究室への電話でお誘いをいただいたのがきっかけです。その後、編集委員、関西や北海道の地区世話役、会計、そして、倫理規定 WG、

会計チーム、情報システムチームのリーダーなどを経験させていただきました。これまでのやり方を変更するタイミングでお引き受けしたケースが多く、チームでワイワイガヤガヤ、試行錯誤しながら取り組みました。途中で諦めた仕事もあります。ごめんなさい! 多くの皆さんに迷惑をかけながらも、楽しい思い出と、そして何より年代、地域、業種や職種を超えた友人がたくさんできました。

シンクタンクを結婚退職してしまったのに土木の分野に関われたのは、会があったからこそ。会が、個人の資格で参加している方々の集まりだからです。会社を辞めても続けられる会を運営くださった皆さんにお礼を申し上げます。そしてこれからも、このような貴重な「場」としての側面を保ち続けてくださるといいなぁと、心から願っています。

これからは、会からは離れたところで、研究や、土木分野でのダイバーシティ&インクルージョンに取り組みます。長い間、ご一緒させてくださり、ありがとうございました!

皆さん、くれぐれもお元気で。ごきげんよう!





# サポーターコーナー vol.1



このコーナーは、当会の理念に賛同し、活動を継続して応援してくださるサポーターの 皆さまと交流を図るものです。今回は、ご協力いただいたアンケートの結果をご紹介します。



18 名の方から回答をいただきました。



# Q1.主に活動される地域



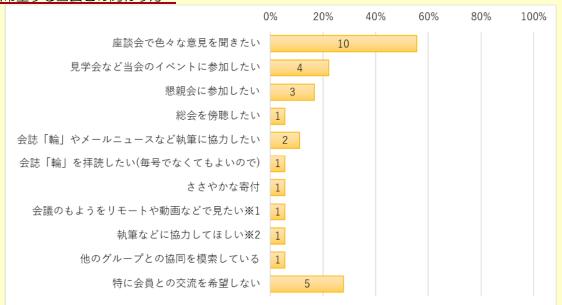
# Q2.サポーターのきっかけ

女性技術者との関わり方について ヒントを得たい; 1; 6%

知り合い (会員) の活躍 を応援したい; 1; 5% 会の活動を 支援したい; 女性技術者を 応援したい;

9;50%

Q3.希望する当会との関わり方



- ※1 メールニュースやホームページなどでは見ることができない会議のもようをリモートや動画 などで良いので拝見したいです。
- ※2 弊社でもドボジョを応援するきっかけづくりとして広報誌内にドボジョ紹介のコーナーを設けております。弊社は全国展開のため、全国の様々な自治体や団体様、各企業様に直接ニュースレターをお渡しし紹介しています。また、未来を担う学生に向けて講習会を実施しているので、そこで女性が活躍する記事を見てもらい、知っていただくことで就活のきっかけになればと思っています。弊社広報誌内で会の方や会そのものの紹介をさせていただき何かのお力になれば幸いです! 是非、私たちにご協力いただけないでしょうか?

NATER PROPERTY OF THE PROPERTY

# Q4.女性技術者との関わりで悩んでいることや伝えたいこと

- 私はあまり悩んでいませんが、周りの男性 は無理に平等に扱おうとして違和感がある。
- 男女互いが特別視しているので色々とあるのかなと思います。
- ・現場における女性技術者受入体制に満足出来ているか? 特に要望は無いか?
- さらに女性の活躍できる社会実現を応援したい。
- ・最近になり、やっと女性が使用しやすい現場のトイレやその他設備等が世に出るようになりましたが、実際、女性目線からしてはどうなのか知りたいです。
- ・社内に WLB のロールモデルがいるか。
- ・コロナ感染が広がっているこの頃ですが、 女性技術者に対してのどのような方法で 出勤及び現場での対応した方が良いのか。 また、テレワークをした場合の自宅での業 務の進行度合いと家庭等の両立が潤滑に 行われていけるのか。
- ・やはりお会いするきっかけが少ないというところはあります。あとは、直接インタビューさせていただいた役所の方から「女性がいるよ! と発信していく機会が少ない」と悩まれていました。弊社としてはどのようにその発信する場を提供してあげられるか、私たち一企業がどこまでできるのか、悩み考えています…。

#### Q5.その他ご意見など

- ・陰ながらいつも応援しております。早く女性の会ではなく男性も交えた会に良い意味でなりますように願っております。
- 頑張ってください。継続は力です。
- ・CVV(退職土木技術者ボランティア活動) 幹事長として他のグループとの協同を模 索している。CVVのHP: cvv.jp を参考 にしていただき、協力できることがあれば お知らせ下さい。

- •1983年発足という歴史ある団体であり、 補助金・助成金頼みの活動も多い中、倫理 規則にある倫理指針は「凛」とした意気を 感じ、共感します。
- 今後とも貴会の活動に期待しています。
- •交流会等ございましたら、参加したいです。
- メルマガ配信いつも楽しみにしております。
- 活動に期待しています。
- コロナ感染リスクがありますが、座談会等 を開催されるかどうかお伺いしたい。
- ・ やはり、会そのものの紹介を弊社でもさせていただければと思っています。そして今ドボジョとして活躍されている方やこれから活躍される方に向けてどんどん発信していきたい。私たちができることは、まずそこからだと思っています。あとは、現場を見学する、意見交換会や懇親会などに参加してみる、そういった貴重な機会もいただけると嬉しいです。何も知らないままではドボジョの魅力も何も伝えられないのでは? と思うからです。
- 建設業協会の方ともお話する機会が非常に 多く相談などもお聞きするので何か情報 の架け橋となれればと思っています。



## 「輪」編集委員より

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。数々の温かいお言葉やエールは、とても励みになります。いただいたご意見は、今後の会の活動に役立てていきます。ご質問やご要望は、改めて回答の機会を設けますので、もうしばらくお待ちください。

また、中部支部では、初めての試みとなる、 サポーターを交えた意見交換会を開催しま した。p.40 開催報告もぜひご覧ください。 よろしくお願い致します。

(まとめ:中部支部 藤代祥子)

PATER PROPERTY OF THE PROPERTY



# お知らせ



昨年の総会で定款が改訂されたことに引き続き、本年の総会では一般規則の改定が承認されました。 ここでは、そのポイントをお知らせします。

#### 主な変更点

(1)名誉会員の設置

# 会員の種別と就任可能な役職・称号

呼称とそれらの権利等の違い 法律上の社員 呼称 定款上の会員 称号 「顧問」 正会員  $\circ$ 0 「名誉会員」は 称号 学生会員 0 サポーター 0 顧問  $\bigcirc$ 名誉会員 0

会員種別と就任可能な役職・称号 会員種別 理事 運営委員 顧問 名誉会員 正会員 0 0 名誉会員の称号を 学生会員 顧問の称号を 受けられるのは 受けられるのは サポーター 0 正会員 正会員 サポータ

(2)理事の選任方法

# 理事選任の方法



#### (3)決議実施機関の変更

				0	決議。
IB	現行(総会後)				
事項	総会	その他	事項	総会	理事会
常設委員会 (運営委員会) の設置	0		常設委員会 (運営委員会) の設置	0	
運営委員(会計担当、人材育成担 当)の任免	総会 承認	会長	運営委員(会計担当、人材育成担 当)の任免		0
WGの設置	0		WGの設置		0
WGリーダーの任免	0		WGリーダーの任免		0
事務局長、経理及び 情報システムチームリーダーの任 免	0		事務局長、経理及び 情報システムチームリーダーの任 免		0
企画広報局長、会誌編集長の任免	0		企画広報局長、会誌編集長の任免		0
理事選任に関するルール (規則) の改廃	0	一部選管	理事選任に関するルール (規則) の改廃	選任お よび選 挙概要	選挙 手続き

# ●●新会員管理システムへ移行しました**●●**

当会では、会員管理効率化やセキュリティ強化、利便性向上に向け、会員の意見を募集しながら、 会員管理・会費管理システムの検討を行ってきました。それに伴い、2020年3月より新会員システム に移行しています。

#### 1. 新システムの概要

#### 「会員マイページ」の導入(新設)

- ⇒会員の皆さまは、好きなときにご自分が登録されている情報の確認や更新ができるようになりました。 是非ご活用ください。
  - ただし、サポーター(団体)は除きます。サポーター(団体)の方は従来通り、メールにて会員管理担当宛におしらせください。
- ⇒今までは会費を振込票でお支払いいただいていましたが、来年度の会費からは「会員マイページ」で 指定された銀行口座への支払いか、オンラインでのクレジットカード決済のどちらかを選んでお支払 いいただくことになりました。ただし、サポーター(団体)の方は、従来通り、請求書払いとなります。
- ⇒「会員マイページ」で、いつでもご自身により会費の請求書や領収書を発行することができます。

#### ホームページの会員限定ページ(既存)

- ⇒以前からホームページにあった正会員・学生会員の方限定のページは、変わらず会員限定ページ として運用しています。
  - ※上記の「会員マイページ」とは別のシステムです。
- 2. 「会員マイページ」と「会員限定ページ」の新しいログイン方法について

会員情報と会費情報を管理する「会員マイページ」と「会員限定ページ」は、それぞれ別にログインして使っていただくことになります。システム移行に伴い、3月23日以降は会員番号、パスワードとも変更になりました。新しい会員番号が不明な方は、会に登録しているメールアドレスで、「会員マイページ」にログインしてご確認いただくか、2020年3月19日に会よりお送りしたメールをご確認ください。

(会員マイページ URL:https://swce.smoosv.atlas.ip/mypage/login)



# ●●「建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会」の提言書●●

2018 年度から 2019 年度にかけて、前会長の渡邉弘子さんが委員として参画された国土交通省主催の「建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会」の提言書が、国土交通省のウェブサイトに掲載されました。

「女性活躍の推進」の項目内の「快適トイレの導入について」には、当会の名前が掲載されています。特に快適トイレに関しては、国土交通省直轄工事に携わる方々にとって、大変有益な情報になることからもぜひご覧ください。

掲載されているウェブサイト: http://www.mlit.go.jp/tec/i-con-yarigai.html



#### メディア掲載

会のウェブサイトに最新情報を掲載しています。

https://www.womencivilengineers.com/related-article

#### サポーターおよび新規会員募集

一般社団法人土木技術者女性の会では、当会の活動をさらにパワーアップするため、私たちの理念に賛同し、継続して活動を応援してくださる「サポーター」を広く募集いたします。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いします!

https://www.womencivilengineers.com/admission/membership-type

#### 寄附制度のご案内

土木技術者女性の会は、土木学会誌(1982 年 9 月号)に掲載された「座談会:女性土木技術者おおいに語る」がきっかけで1983 年 1 月に発足しました。任意団体として30 年の長きにわたり活動をし、2013 年 11 月 18 日(土木の日)に一般社団法人 土木技術者女性の会として新たなスタートを切りました。全国規模での総会、見学会やセミナー、シンポジウムや支部による活動などを通じて、女性土木技術者、将来の女性土木技術者に対して幅広い年齢層のロールモデル提供の場、指導者育成の場、キャリア継続支援の場を提供しています。

つきましては、当会の社会貢献活動への取組みをご理解いただき、ぜひ、一般社団法人 土木技術者女性の会への御寄附をお願い申し上げます。

https://www.womencivilengineers.com/donation/guidance

# ちょっと一息

#### ~家事効率化!おすすめ家電・アイテム~

今回の「ちょっと一息」では、忙しい毎日を乗 り切るための相棒を収集しました。



15名の方から、21の回答をいただきました。 ご協力ありがとうございました。

冷蔵庫; パートナー; 冷凍食品; 1; 5% 1: 5% 1:5% 除湿器; 1; 5% 食器洗い乾燥機: 5; 24% ウォーターサ 1; 4% 洗濯機; 2; 9% 掃除機; 5; 24% 調理器具; 4; 19%

# 食器洗い乾燥機



共働きのため、とにかく時短できる!

東日本支部 匿名さん

皿洗いの時間が減り、水道使用量も減らすことができています!水を大切に。

北海道支部 Mさん

時短になります。セットすれば、あとは自動! 東日本支部 匿名さん

#### ◆据付けタイプ

使い方というより選び方になりますが、うちは 2人家族なのですが、大は小を兼ねる、で、4人 家族用を購入しました。お店の方も2~3人用は あまり入らないので実用的ではない、とおっしゃ っていました。

東日本支部 Kさん

<del>ೂಲ್ಯೂಲ್ಯೂಲ್ಯೂಲ್ಯಿಲ್ಯೂಲ್ಯಿಲ್ಯೂಲ್ಯಿಲ್</del>

### 掃除機

# ◆makita ハンディクリーナ(充電式クリーナ)

大きな掃除機と違って、充電式でコンパクトなので、気になったらすぐに手に取ってスイッチオン。現在2代目に買い替えましたが、20年以上愛用中です。

中部支部 Mさん

#### ◆iRobot ルンバ

時短になります。セットすれば、あとは自動! 東日本支部 匿名さん

#### ◆dyson コードレス掃除機

コードレスで子どもでも使いやすく、実際にホコリ(ゴミ)が溜まっているのが目に見えるので、ゲーム感覚で甥っ子や姪っ子が掃除をしてくれます。リビング等の共有スペースだけでなく、個人的な部屋(子ど…伯母部屋)も楽しく掃除機をかけてくれました!

中部支部 Aさん

## ◆Panasonic 紙パック式掃除機

すごく軽く、吸引力があるのに非常に動かしやすい。クリーンセンサーがついており、一定のハウスダストがあると赤く点灯するので、しっかり掃除できている気がする。また、紙パック式の良いところは、ゴミを捨てる時にホコリを吸い込むことがない! さらにノズルの先端にライトがついているので暗いところでもゴミが見えるのも便利!

中部支部 Fさん

#### 調理器具

#### ◆圧力鍋

ご飯を炊く・煮物・スープ等、色んな料理ができるので活用しています。

九州支部 Kさん

Flssler(フィスラー)の圧力鍋を愛用中。浸水しなくてもモチモチのご飯が炊けるし、ご飯を炊くときに根菜類も一緒に入れて時短調理!

中部支部 Fさん

◆ recolte カプセル カッター ボンヌ みじん切り、大根お ろしなど、これで下ご しらえが数秒で完了 します!

> 中部支部 Nさん (引用: recolte ウェブ サイトより)





### ◆SHARP ヘルシオ ホットクック



シャープの自動調 理鍋、「ホットクック」 激推しです!電気圧 力鍋との違いは、自 動かき混ぜ機能が搭 載されており、炒め 物なども材料と調味 料を入れれば最適な 火加減で自動調理し

てくれるため、メニューの幅が広いことにあります。本体に豊富なメニューが搭載されており、さらに上位機種では無線ラン経由で新しいメニューが取り込めます。また、タイマー機能が付いており、帰宅時間に合わせて出来上がりをセットできます。何より火を使わないため、子供さんや料理をしたことのない男性でも安全に美味しく調理ができます!そこそこお値段は張りますが、つきっきりの調理時間を時給換算すれば数か月でペイするのでは?(笑)

九州支部 Tさん

(引用:SHARP ウェブサイトより)

#### **♦**BONIQ



そこそこおいしいロー ストビーフがたらふく食 べられます。温泉卵も楽 勝。

東日本支部 匿名さん (引用: BONIQ ウェブサ イトより)

<del>৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽৽</del>

# 洗濯機

#### ◆洗剤自動投入ドラム式洗濯機

家事で時間を費やす洗濯物。特に住んでいる地域は雨が多く洗濯物を外で乾かす機会が少ないこともあり、新しくドラム式洗濯機を購入することに。洗剤を適切な量で自動導入してくれて、乾燥までかけてくれます。洗剤は詰め替えを購入し、まるまる入れられます。これだけでもかなり効率化されます。洗濯が乾かない!乾かすのが面倒くさい!なんてストレスはもういりません。これからの生活になくてはならないアイテムです。

サポーター Mさん

#### ◆ドラム式洗濯乾燥機

共働きのため、とにかく時短できる!

東日本支部 匿名さん

# ウォーターサーバー

わかりきった話で大変申し訳ないですが、いつでも温かいお湯、冷たい水が使えるのでとても便利。ペットボトルで飲み物を買う回数が減って、買い物も楽になった。

九州支部 匿名さん

# 除湿器

除湿機を使って、洗濯物のサイクルが天気に左右されないようにしています。溜めたが最後だと思うから…。

中部支部 Mさん

## 家族・パートナー

家事を率先してやってくれるパートナーを常 に褒め称えて、感謝の気持ちを伝える。

西日本支部 Sさん

子どもなど家族みんなで取り組むこと、他人が やってくれた家事を尊重することが個人の負担 の最小化になるのではと思います(書いていて反 省すべきところが思い浮かびますが)。

中部支部 Mさん

# 冷蔵庫



「これがなければやっていけない!」冷蔵庫です。今持っている冷蔵庫には、ドアポケットに一升瓶が3本立てた状態で入ります。(写真では、一升瓶1本に四合瓶4本ですが)。瓶の上のほうと下のほうでは酒の味が違うので、瓶を横にして保管したくはない。とはいえ、そろそろ冷蔵庫の買い替えも考えているところです。一升瓶がせめて1本でも良いので、立てた状態で保管できる冷蔵庫をご存知でしたら教えてください!(ご存知の方 rin@womencivilengineers.com まで!)

東日本支部 Wさん

(まとめ:中部支部 藤代祥子)



## <北海道支部>

# 土木の日パネル展 2019 女性土木技術者おしゃべりサロン

日 時:2019年11月17(日)、18日(月)17:00~19:00

場 所: 札幌駅地下歩行空間

参加人数:11 名(正会員9名(1日目3名、2日目6名)、その他来場者2名)

#### 1. イベント概要

主 催:北海道土木技術会 共 催:(公社)土木学会

後 援:(一社)土木技術者女性の会 北海道支部

#### 2. 内容

北の暮らしを支える土木のパネル展示と土木について一般の方々と交流しました。

#### <北海道支部>

# 2019 年度 勉強会

日 時:2020年1月11日(土) 16:30~18:10

場 所:定山渓温泉ホテル鹿の湯 宿泊室

参加人数:9名(うち会員7名)

#### 1. はじめに

北海道支部では、「ハラスメントに負けるな!」をテーマに自身が経験したハラスメントとその対応策について勉強会を開催しました。その後は、昨年に引き続き温泉宿でお泊り会を行い、会員同士の親睦を深めました。勉強会では、各自が経験したハラスメントの内容や当時の対応・経過について発表し、それに対して原因の分析やその対応策を全員で議論しました。以下に 2 件のハラスメント事例をご紹介します。

#### 2. ハラスメント事例

#### (1)仕事の不適切な割り振りや評価

#### ◆ハラスメントの内容

業務時間内では対応しきれない案件を担当することになった。育児を頼れる人が周りにおらず保育園の送迎は自分しか出来ないことから、会社での残業が不可能で家に帰り、家事や育児を終えてから睡眠時間を削って作成したが、担当案件の社内反省会で「必死さが伝わらない内容だった」と感情的な評価だけで終わってしまった。当時、一日あたりの睡眠時間は2~3時間程度だった。

#### ◆された時の気持ちなど

仕事の割り振りはもちろんだが、技術的な問題点についての指摘がなかったことや「必死さがない」 という人によって違う個人の感覚で決めつけられ、悲しい気持ちになった。



#### ◆対応方法など

相手の言ったことを再度メールでもらえるように促した。そのメールと共に上司に相談し、注意をし てもらった。

◆当会で情報を共有し、支えになったことがあれば 口外することではないと感じ、あえて話題にするのは面倒だったが、いざ話してみると気持ちがスッキリルた。

#### (2)怒鳴り散らすなど逸脱した言動や過剰な叱責

#### ◆ハラスメントの内容

直属の男性上司がカッとなると十数分に渡り怒鳴り散らし、こちらの言い分を聞こうとしない人。怒りを吐き出しクールダウンすると普通に会話するが、DV(ドメスティック・バイオレンス)気質を感じ、理解に苦しむ。

◆された時の気持ちなど

追い詰められている感じ。怒りの吐き捨て場にされているように感じる。

#### ◆対応方法など

一応、目上の方なので、こちらまでキレてはいけないと思い、相手の意見の中で役に立ちそうなことを聞き、今後に役立てるスタンスを保ってきた。3 年ほど前には、取締役の一人に事の経緯を相談したことで、上司は注意を受けたようだったが、反省は一時的だった。今年に入り怒鳴るようなことではない(と私は思う)ことで過剰な叱責を度々受け、あまりに一方的な言い分に対し私が控えめに反論すると、その時は謝られた。しかし、その後「〇〇さん面倒くさい!面倒くさい!」(非常に大声)と、私が過去に言った事に対して怒りの伏流水が湧いているかのような異常な言動があった。上司は、反論が怖いのか、人を説得するときに高圧的な態度をとるような気がする。上司にしてはいけない部類と感じ、とりあえず doda(転職サイト)で気を紛らわしている。「早く離れなくては!」と思っている。

#### ◆当会で情報を共有し、支えになったことがあれば

勉強会の場で話した際、私のカゲキな発言で驚かせてしまったかもしれないが、皆さんに共感してもらえて心強かった。ハラスメントは、下手に出ているばかりでは解決しないため、必要に応じて自分の意見を伝える必要があると思う。簡単に辞められないのなら尚更だが、理不尽と感じる場面に遭っても、自分の糧になるような行動が出来るかも知れない。転んでもタダでは起きない心意気でいきたい。

#### 3. さいごに

勉強会では、職場のパワーハラスメントに限らず様々な事例が挙がりましたが、事例の中には、残念ながら、誰にも相談できずに泣き寝入りしたものや本来であれば、問題を解決して健全な職場環境となるべきものも、様々な要因が絡み合い、すぐに解決することが困難な状況もありました。しかし、いずれの場合も①第三者が客観的に判断できる物的証拠を残す(録音・写真・メール・目撃証言など)、②社内の相談窓口や外部組織(労働局・弁護士会など)の窓口に相談するという解決方法に至りました。

今回の勉強会は、同じ悩みをもった仲間と語り合い、共感を得ることで、ストレスの発散や心の支えになると感じました。さらに、同じ悩みを持っているからこそ、然るべき対処法を共有でき、お互いの知識を深め合うことができる貴重な場にもなっており、土木技術者女性の会ならではのメリットを発揮した勉強会でした。



#### 「輪」編集委員より

職場のパワーハラスメントとは、①優越的な関係を背景とした言動で、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されるものであり、①から③の

要素を全て満たす場合を指します。そして、2020年6月よりその防止措置が事業主の義務となりました(中小事業主は2022年4月から)。その他のハラスメントも防止対策が強化されたことで、少しでも事例が減少し、働きやすい環境が確保されることを望みます。

### 〈東日本支部〉

# 弥栄(いやさか)の会

3 時: 2018年9月22日(土) 9:30~12:00から毎月原則第4土曜日に開催

場 所: 中日本建設コンサルタント(株)東京支社会議室

⇒2020 年 4 月以降は新型コロナウィルス感染防止対策のため Web 開催

参加人数: 2~10 名/回(会員 2~10 名、サポーター1 名、家族 1 名)

報告:須田 久美子(東日本支部)

東日本支部では阿部國治先生の著作を栗山要先生が編集された「新釈古事記伝」<sup>※</sup>の読書会「弥栄の会」を 2018 年 9 月から毎月原則第四土曜日に開催しています。参加者全員が順番に朗読し、感想を共有するという単純なイベントで、ひらがなが読めれば誰でも参加できます。新型コロナ対応で様々なイベントが中止になっておりますが、皆さんのご協力のお陰で、「弥栄の会」は Web 開催で活動を継続しております。画面共有の機能を活用し、手元に本がなくても全国の皆様にご参加いただくことが可能になりました。ここでは、発足経緯と活動の様子をご紹介いたします。

※阿部國治著·栗山要編「新釈古事記伝」

第一集 袋背負いの心(ふくろしよいのこころ)

第二集 盞結(うきゆい)

第三集 少彦名(すくなさま)

第四集 受け日(うけひ)

第五集 勝佐備(かちさび)

第六集 天岩屋戸(あまのいわやと)

第七集 八俣遠呂智(やまたのおろち)

#### 1. 「弥栄の会」の発足経緯

阿部先生の「新釈古事記伝」に出会い、先生のお人柄がにじみでるような現代語の解釈文と解説文を色々な方に読んでもらいたいと思い、セメント新聞のコラムで紹介したところ、東日本支部の行事として読書会を開いていただけることになりました。

〈稲羽の白兎〉も古事記に由来するお話ですが、「小さな島に住んでいた兎は、ある日、大きな陸地が見えたので、そちらに行きたくなりました」と始まる導入部を日本人は当たり前に受入れています。阿部先生は、「小さかったから大きくなろう」「狭かったから広い所へ出よう」とするのが自然の人情であり、子供と大人を問わずいつも動いている心の姿が「弥栄の心」であると教えています。

女だからとか男だからというものは関係なく、土木の世界で仕事をしたいという何物にも抑えることのできない、「弥栄の心」に突き動かされてきた女性達のあつまりが土木技術者女性の会であると思いますので、読書会の愛称を「弥栄の会」と命名いたしました。

阿部先生の現代語の解釈文と解説文は子供にも分かり易く丁寧に書かれておりますので、大人だけではなく、お子様の参加者も増やし、将来的には、子供たちに「弥栄の心」の種をまき、次世代の担い手を地道に育てる仕掛けの一つになれば良いと考えております。

また、世間一般では「荒ぶる神」として知られている須佐之男命(すさのおのみこと)を「開拓の神」とし、



大国主命(おおくにぬしのみこと)をくにづくりの実行者としてているところも阿部先生の解釈の魅力です。 土木技術者としての心の持ちよう、技術者倫理の捉え方などに関するヒントが随所にちりばめられてい ます。

「弥栄の会」のコアメンバーは、笹尾圭哉子さん、小林千佳さん(東日本支部長)、北原正代さん(理 事)です。会議室の準備、開催案内と参加者のとりまとめ、Web 開催のための zoom 会議の登録・周知、 当日の司会進行、報告書のとりまとめ、ウェブサイトへの掲載など毎回の開催・成果報告にご尽力いた だいております。

#### 2. 「弥栄の会」の活動の様子

会場は、笹尾さんのご厚意により、市ヶ谷・四ツ谷間にある中日本建設コンサルタント(株)東京支社 様の会議室をお借りして開催しています。土曜日の午前中、車座になりお菓子を囲みながら、順番に 朗読しています。会員のお子様(小学生)にもご参加頂いております。大国主命の国造りと土木の仕事 が重なり、読後感の共有の場では会員どうしの自然な意見交換・情報共有にも繋がっています。終了 が昼時になることもあり、毎回ではありませんが、お花見をしたり昼食会を設けたりなどして、古事記の内 容をさらに膨らませて語るのも楽しいひと時となっています。

## ○2019 年 3 月 30 日(土)「弥栄の会」@中日本建設コンサルタント東京支社





【読書会の様子】



【市ヶ谷のお花見】



【播磨坂のお花見】





【昼食会の様子】

【播磨坂のお花見】

また、Web 開催となったことの利点として、遠方や他支部の会員にも参加頂けるようになり、参加の輪が広がりました。阿部先生の「新釈古事記伝」の構成が、前のお話を読んでいなくても十分理解できるため、初めての方でもスムースにご参加いただいております。

## ○2020 年 7 月 27 日(土)「弥栄の会」Web 開催



読後感を共有した後の記念撮影

開催状況や参加者の感想等は、会の Web ページに報告書として挙げています。興味を持たれた方は、この機会に是非古事記の世界を味わってください。お申込みをお待ちしています。

https://www.womencivilengineers.com/archives/5471



#### 〈東日本支部〉

# 土木系女子学生のためのキャリアセミナー

# 『土木の仕事の魅力と私達の働き方』

日 6時: 2019年10月19日(例年10月末の土曜日)10:00~14:00

場 所: 東京ウィメンズプラザ 他

参加人数: 30~40 名程度(うち会員 15 名前後)

報告:小林 千佳(東日本支部 支部長)

東日本支部では、将来土木の仕事に就きたいと考えている女子学生を対象に、実際に働いている 先輩方の生の声を聴き、進路の参考にして頂くことを目的として、キャリアセミナーを開催しており、これ まで 20 年以上にわたり継続してきました(残念ながら、今年はコロナウィルス感染拡大防止のため開催を見送りました)。本稿では、イベントの概要や、参加者の感想などについて紹介させていただきます。

#### 1. 開催時期と会場

近年は 10 月の週末のうち半日で開催しています。経緯としては、以前は企業の会議室や現場事務所などで開催していましたが、約 10 年前より「東京ウィメンズプラザ」(男女共同参画社会実現を目的とした東京都の外郭団体が運営する施設で、渋谷区表参道にあります)の秋のイベント「東京ウィメンズプラザフォーラム」に参画する形で進めてきたということがありました。しかし、2019 年度は総会幹事としての準備に没頭するあまり申込みを失念するというアクシデントがあり、支部会員の勤務先のご協力を得て会議室(東京電力ホールディングス様)をお借りして開催しました。

秋という開催時期については、これから就職活動をする学生と、進路が決まり春に向けて心の準備をする学生との両方に参加頂け、参加学生のモチベーションも高まるという点で適していると考えています。加えて、支部として大きなイベントを開催するに際し新年度から準備するという点でも適切だと感じております。

#### 2. 参加者

会員に限定せず参加者を募集しており、近年は 30~40 名程度ご参加頂いています。人数構成は 社会人・学生ともにほぼ半々となっています。参加者には、学生・社会人半々で構成される 6~8 名の 班に分かれて頂き、グループワーク方式で進行しています。

#### 3. プログラム

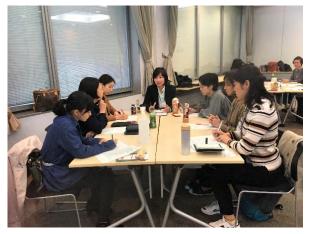
一昨年度まではほぼ固定したプログラムで開催しておりました。 (1)ライフスタイル紹介「ちょっと先輩の一日」(15分×3名)

社会人経験10年未満程度の若手女性土木技術者によるプレゼン。業種別に、事業者・コンサルタント・ゼネコンで働く方計3名が約15分ずつ、パワーポイントを用いて説明頂き、質疑を受け付けています。各業種の紹介だけでなく、各人がこの道に進んだ経緯、学生時代の過ごし方、社会人になってから一日の過ごし方(オン・オフ)、そして将来の夢などを、学生に向けた熱いメッセージとして語って頂いています。学生にとっては、近い世代からのプレゼンにより、各業種の違いなどを理解頂いていますが、社会

人の参加者にとってもわが身を振り返るとても良い機会となって 【ちょっと先輩の一日 プレゼンの様子】 います。また、発表者の選定には毎年苦労していますが、プレゼン後はどなたも、これまでを振り返り自 らの棚卸しをするとても良い機会になった、とお話し下さっています。

#### (2)グループディスカッション① ~自己紹介・学生からの質問【ワーク】~(25分)

ちょっと先輩のお話を聞いて、参加者がセミナー モードになってきたところで、グループごとに自己紹介・ディスカッションを行います。なお、各班には予め社会人のファシリテーターを設定しておき、進行役をつとめて頂きます。学生にはあらかじめワークライフに関する質問を考えてきて頂き、まずはワーク編から意見交換を展開していきます。以前は、班ごとの発表に向けて模造紙にまとめる等の作業を含めていましたが、時間に追われる形となってしまうため進め方を見直し、ディスカッションに重きを置き、まとめは行わないことにしました。各人に、班の方の発言などをメモできるフォーマット用紙を配布し、記録として持ち帰って頂けるようにしています。



【グループディスカッションの様子】

#### (3)基調講演(講演30分、質疑15分)

休憩をはさみ、メインイベントである基調講演となります。各界で活躍する女性土木技術者の方に貴重なお時間を頂戴し、ご自身のキャリアや仕事の紹介、後輩へのメッセージなどをご講演頂きます。学生・社会人とも熱心に耳を傾けており、毎回本当に有難いお話を頂いております。これまで基調講演にご協力くださいました皆様、この場をお借りして深く感謝申し上げます。以下に、最近の開催状況をご紹介いたします。



【基調講演(阿部玲子さん)】



【基調講演 学生からの質問】



【基調講演 質疑応答】

年度	講師	所 属(当時)	演 題
2019	阿部玲子さん	(株)オリエンタルク「ロ-ハ・ルイント・ 現地法人取締役会長	マダム、これが俺たちのメトロだ Madam, This is our METRO!
2018	山田菊子さん	東京工業大学 環境·社会理工学院研究員	今日の私は昨日の私でできている
2017	須田久美子さん	鹿島建設㈱土木管理本部土木 企画部ダイバーシティ推進部長	土木技術者としての私のキャリアパス
2016	瀬尾弘美さん	㈱建設技術研究所管理本部 人事部ダイバーシティ推進室長	土木技術者としての私のキャリアパス
2015	渡邊弘子さん	月の泉技術士事務所社長	私のキャリアパス

(4)グループディスカッション② ~基調講演の感想共有・学生からの質問【ライフ】~(25分) 特に社会人メンバーからは、基調講演のお話を引用しつつ、ご自身の経験も交えながらお話頂き、 学生メンバーの理解を深めます。また、学生が事前に準備してきた質問のうち、ライフ編への意見交換 も展開していきます。

#### (5)各班代表学生による感想発表(2分/班)

各班でどのような議論が行われたか、また個人個人の感想などを各班 1 人ずつ代表の学生に発表頂き、全員で共有します。

#### (6) クロージングスピーチ(10分)

最後に、盛りだくさんの半日の内容が、参加者に腹落ちする 助けとなるよう、社会人参加者の中からベテランの方にお願い し、セミナーを振り返りつつ解説を加えて頂きます。参加者への 力強いメッセージも頂いています。

東京ウィメンズプラザフォーラムの1コマが午前か午後の3時間半と限定されているため、毎回ぎっしりの内容を時間に追われて進める状況となっており、参加者の感想からも、ディスカッションの時間が不足していたとの声が多く上がっておりました。2019年度は、先述のとおり、フォーラムに参加せず独自に開催したことから、時間に自由度が出来ましたので、改善を図るべく、グループディスカッション②を「ランチボックス・ディスカッション」として、お弁当を食べながら1時間にわたりゆつくりお話しできるようアレンジしてみました。その結果、食事を取りながらということによって、リラックスしたムードの中で笑いも交えながら



クロージングスピーチ (須田久美子さん)

楽しくも活発な討議の時間とすることができ、参加者からも好評を頂きました。

### 4. 参加者からの感想

以前はアンケート用紙を配布して、記入頂いてから解散としておりましたが、少しでも時間を有効に活用するために、アンケートのWEB化を図りました。グーグルフォームによるアンケートを作成しておき、セミナーのレジュメにQRコードを印刷しておくことにより、参加者が帰り道にスマホで答えられる環境としています。過去の感想(参加して良かった点)以下に抜粋して紹介します。

#### 【学生】

- ・女性がどのように活躍しているのかがわかるディスカッションで良かった。仕事内容をもっと掘り下げて話してみたかった
- ・就職という入口にかじりつくのではなく、数年後、数十年後のことを考えていかなければならないと気付かされた
- ・土木業界では女性が増えてきたと言われているが、今まで土木に携わる女性の方々が男性に混ざって仕事をして行く中でしてきた苦労を今後も忘れずにいることこそ、大事なことであると学んだ 【社会人】
- ・同じような環境で頑張っている人がいるということを知れただけでも価値があった
- ・他社の進んだ取組みなども聞くことができ、今後自分の会社にも似たような制度をつくることはできないかと考えるきっかけになった

#### 5. 今後に向けて

このセミナーの開催に関してはまさに「継続は力なり」と考えています。そもそもの趣旨は、これから土木の世界に飛び込んでいく土木系女子学生にエールを送るとともに不安を取り除くお手伝い、とのことでしたが、参加頂く社会人にとってもこれまでの半生を振り返ったり、他の人の事例や意見を参考にするなど、自らの棚卸し的貴重な機会となっています。今年度は開催見送りという残念な状況となりましたが、次年度以降はまた継続して、支部の力としていきたいと、本稿をまとめながら強く感じました。

【補足】これまでのキャリアセミナーの開催報告の詳細は、会の WEB サイトの東日本支部ページに 掲載されています。アンケート結果なども載せていますので参考になさってください。



【2019 年度開催後の集合写真】

#### 〈東日本支部〉

# あきた建設産業女性交流会に参加して

日 時: 2020年2月13日(木) 10:30~16:00

場 所: 秋田ビューホテル(秋田市)

参加人数:約80名(基調講演の講師として当会渡邉前会長を招へい)

報告:北原 正代(東日本支部)

## 1. イベント概要

◆ 主 催: 秋田県·秋田県建設産業団体連合会

◆ 参加者:建設産業に従事する女性、経営者、あきた建設女性ネットワーク会員、事務局(秋田県及び秋田県建設産業団体連合会)

- ◆ 目 的: 建設産業(建設業及び建設関連産業)における女性の活躍を推進し、男女ともに働きやすい建設産業の実現を図るため、女性技術者等を対象とした交流会を開催するとともに、経営首脳者を交え、現状並びに今後の課題について意見交換会を行う。
- ◆ 内 容: あきた建設女性ネットワーク活動紹介、基調講演((一社)土木技術者女性の会 前 会長 渡邉弘子氏)、建設産業に従事する女性と建設産業経営者との意見交換会

#### 2. 参加報告

#### 2-1. 交流会前日

2 月とは思えないほどの、雪の少ない秋田市へ到着。あきた建設女性ネットワークの事務局である秋田県の担当の方々と、あきた建設女性ネットワークを構成する各地域リーダーさんたちと顔を合わせ、懇親会で楽しい時間を過ごしました。新鮮なお刺身をはじめ、秋田県の郷土料理の数々を堪能しました。美味しいお酒も数多く並んでいましたが、明日に備えてちょっと我慢。





【雪の少ない秋田市内】



【パワー全開の秋田女子との懇親会】

#### 2-2. 交流会

# ~ あきた建設女性ネットワーク活動紹介 ~

秋田県では、建設業の担い手を確保するために、女性の活躍がその起爆剤となることを期待して、

県主導のもと女性のネットワークづくりに 力を入れています。女性部が設立されている県内 6 つの地域で、新規女性入職 者の確保や能力向上、女性の働く姿を 発信するなどの活動を行っています。活 動を開始して 2 年とのことですが、各地 域のリーダー同士や地域リーダーと事務 局が互いの現状をよく把握しており、うまく 連携しながら活動していると感じました。 皆さん、それぞれ明るく、気負うことなく取 り組んでいらっしゃいました。



【会場受付の様子】



平鹿地域「SAKURA」 【代表:小玉晴香さん】



雄勝地域「はなこまち」 【代表:千葉愛さん】



山本地域「能代山本アテナ」 【代表:村岡陽子さん】



仙北地域「HANAMARU」 【代表:大澤智恵美さん】



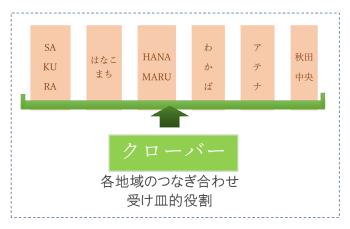
北秋田地域「わかば」
【代表:畠山優子さん】



秋田地域「秋田中央建設業協会女性部会」
【代表:大友円さん】



あきた建設女性ネットワーク「クローバー」 秋田県建設業担い手確保育成センター 【森山千恵子さん】



【あきた建設女性ネットワークの構成】

#### 2-3. 基調講演

土木技術者女性の会の渡邉弘子前会長が「建設業界における女性活躍~わたしのため、あなたのため、次世代のため~」と題して基調講演をしました。渡邉さんは、私たちが「女性」であることで感じる、日頃のモヤモヤを「無意識のバイアス」という言葉で説明してくれました。また、現状の課題とそれぞれの立場の人が取り組むべきことを図や表で整理して説明してくれたので、参加した女性自身ばかりではなく、経営者にとっても大変参考になったことと思います。

「7 世代先のことまで考えること。そのために、まずは今の活動を小さくても良いから継続することが大切」 とのメッセージが、会場全体に響きわたりました。





【基調講演する渡邉弘子前会長】

#### 2-4. 意見交換会

基調講演後、建設業に従事する女性と経営者が7つのグループに分かれ、今後の女性活躍を推進する上で課題となっていること等について意見交換を行いました。皆さん、積極的に意見交換をされており、お互い実りの多い場となったようです。

そして、会の最後にはサプライズゲストが登場。司会の福原さんの「秋田県知事、佐竹敬久様です!」との声に会場がどよめき、盛り上がりました。知事からは、とても温かい激励のお言葉をいただきました。 予定になかった知事訪問にも関わらず、福原さんの名仕切りにより、たったと知事を囲んでの記念撮影に移行し、予定の時間で交流会は終了しました。







【参加者全員での記念撮影】

### 3. 交流会を終えて

秋田県の建設業を担う女性たちは、多くの方が地域にある土木建築会社や電気・機械工業、造園、 測量・コンサルタント会社等で働いており、毎日待ったなしの現場を任される中、自分たちが今、どれほ どやりがいを持って働いているかを、社会に、そして、特に若い人たちに伝えたいという想いに溢れてい ました。自分の仕事は誰のものではなく自分のもの。自分自身の信念に従って、「自然体でしなやかに」、

そんな働き方で地域の一員として、仕事を楽しんでいるようにも感じられました。今回の参加は、秋田県さんからの講演の依頼がきっかけですが、そもそもは、昨年8月に八戸市で開催した、青森県、岩手県、秋田県の建設女子と当会との交流会が縁となっています。「土木」の仕事を楽しむ女性たちが、東北各地で見かけられるよう、これからも一緒に活動していきたいと思いました。



【交流会を終えて秋田駅にて】 地ビールでお疲れ様



### <中部支部>

# 視察交流会 2019 ~ 新丸山ダム関連 ~

日 時:2019年11月28日(木)10:00~16:20

場 所: 新丸山ダムほか木曽川流域の施設や現場

参加人数:13 名(うち当会会員3名)

報告: 藤代祥子(中部支部)

中部支部では、転流工の工事が進む新丸山ダムをはじめ、木曽川流域の現場や施設において視察交流会を開催しました。当日は、やや冷え込んだものの、ダムとともに美しい紅葉を眺めながらの視察となりました。参加者は、若手からベテランまで幅広い年代の方がおり、妊娠中の方や子どもも参加したことから、ワークライフバランスについての話題も盛り上がりました。以下に詳細を報告します。

### 1. イベント概要

- ◆主 催:(一社)土木技術者女性の会 中部支部
- ◆共 催:関西電力(株)今渡ダム水力センター、

国土交通省中部地方整備局新丸山ダム工事事務所・木曽川上流河川事務所

- ◆行 程:(1)可児かわまちづくり
  - (2)関西電力(株) 今渡ダム
  - (3) 昼食「喫茶レストラン ナンテン」にてダムカレー
  - (4)丸山ダム、新丸山ダム
  - (5)意見交流会

### 2. 内容および感想

(1)可児かわまちづくり ~低水護岸工事の見学~

「かわまちづくり」とは、国交省や市町村、住民や民間事業者が協力し、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組みのことです。その取り組みは、木曽川だけでも可児市を含め 4 箇所で行われており、既に完成している美濃加茂市では子どもが遊べる公園の整備、ラフティングやBBQ などのアクティビティ、コンサートなどのイベント開催により、多くの来訪者でにぎわう場所となったそうです。今回見学した可児かわまちづくりは、親水空間や階段などを整備することで、並行して整備される多目的広場とともに交流の場や環境学習の場とすることを目的としていました。

現場では、設計変更せざるを得なかった部分や湧水による問題箇所など、計画を含めた問題点についても丁寧に説明を受けました。調査や設計をどこまで詳細に実施するのかは、難しい部分だと改めて感じました。

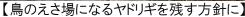


【仮締切作業中】



【法尻付近まで降りて湧水筒所などを確認】







【自宅よりも充実していると思われる「快適トイレ」】

## (2)関西電力(株) 今渡ダム ~魚道の見学~

今渡ダムは、木曽川本川に位置し、1939年(昭和14年)に完成した重力式コンクリートダムです。 関西電力(株)の水力発電専用ダムで、同社の今渡発電所(左岸)と美濃川合発電所(右岸)に送水し て発電しています。土木学会の「日本の近代土木遺産~現存する重要な土木構造物 2000 選」に選 定されています。魚道は、設置するスペースやダム上下流の水位差、貯留水の水位変動などを考慮 し、魚にやさしく、発電のための水量を確保できるような魚道の形式が採用されていました。ダム堤体に は、珍しいインクライン付き舟運路が築造されており、しばらく使われていないものの残して欲しいという 要望があり、維持管理しなければならないもどかしさなどを聞きました。



【非越流部を設けた階段式魚道(左岸)】



【上部:潜孔式と下部:デニール式魚道(右岸)】 右岸魚道は増水時に流木が引っかかることもあり人力で対応しなければならないとのこと



【舟運路の下流側】



【栗石で美しく保護されたのり面】



## (3)昼食「喫茶レストラン ナンテン」にてダムカレー

**昼食は、ダム見学にちなみダムカレーでした。ご飯にかかるパセリにも意味がある、こだわりいっぱいの** カレーでした。関電の方と同じ席になったため、放流時にゲートを開ける順序まで教えてもらい忠実に再 現しました。河川周辺環境への影響を考慮し、ダムの位置関係でゲートを開く順番が決まっていること などを教えてもらい、入社二年目にしてダムへの深い知識に尊敬の念を抱きました。ルーは少し粘性が あるため、ゲートを開けてダム湖を攪拌すると放流が開始しました。丸山ダム、新丸山ダムのダムカレ 一を提供しているお店は数か所あるようなので、巡ってみても面白そうです。



丸山ダムカレー 982円

(丸山ダム堤高98.2mに由来)

丸山ダム堤体 (ご飯250g / 60年の歴史をパセリで表現) 5門のローラーゲート (緑鮮やかな枝豆と竹輪) 丸山蘇水湖(緑のダム湖を再現した特製力レールー) ダム湖の流木 (ごぼうのフライ)

谷間の岩(鶏の唐揚げ)

自然豊かな八百津町の山あい(ブロッコリー)





【丸山ダムカレー】



【3号ゲート(枝豆入り竹輪を抜き)から放流】

### (4)丸山ダム、新丸山ダム ~監査廊や転流工(呑み口)の見学~

新丸山ダムは、既設の丸山ダムを 20.2m かさ上げし、洪水調節や発電の機能を増強するとともに、 「下流の河川環境を保全する」という新しい目的を加えた多目的ダムです。現在は、出水時などに利 用される転流工の工事が進められていました。既設のダムを運用しながら大規模なダムのかさ上げ工 事を行うことは、国内の前例がほとんどなく、設計や施工方法など解決しなければならない技術的な課 題や新たな試みになることも多くあるようでした。 転流工については、水の迂回だけでなく、施設築造時 の土砂の搬出ルートとしても利用されるとのことです。今後、地山の掘削方法や既設ダムと新設ダムの



擦り付け部など、どのような 技術が駆使されていくのかと ても興味深い工事でした。



【丸山ダム、新丸山ダムの事業内容について】



【丸山ダムと転流工(呑み口)の工事と紅葉】



【転流工の工事について】



【発電所の取水口もかさ上げ中】



【丸山ダムに設置される太田垣士郎氏】 (関西電力の初代社長)の格言※1



【新丸山ダムのダム軸と丸山ダムの関係】 (カラーコーン部の赤いライン)

※1 関西電力のダムには社長の格言など記念碑が設置されることが多いとのこと



### (5)意見交流会

意見交流会は、ワークライフバランスをテーマに行いました。

- ◆産休、育児休暇の制度について→国交省の制度や各社の制度を紹介
- ◆休暇から復帰後、職場の方たちと円滑に仕事ができるポイント
- ・休暇中から定期的に職場と連絡を取っていた。
- ・希望の保育園に入れるように、保育園併設の支援センターなどに通い先生と仲良くなった。
- ・保育園が決まらなかったので、一週間に3日程度の一時保育を2つ掛け持ちして復職した。
- ・復帰してからは、自分の状況を伝え、感謝とともにお願いしていた。
- ・仕事の進捗をこまめに報告し、データの共有を必ずした。
- ・後進のためにも肩肘はらずに「こういうもんだよね」という雰囲気になるよう努めた。
- ◆在宅ワークなど多様な働き方について
- ・セキュリティの問題が難しく、制度として確立されていないが、試験的に始まっているところもある。
- ・在宅ワークを認めている会社では、PC の起動時間を勤務時間とした。





【意見交流会の状況】

## 3. おわりに

木曽川流域でダムづくしの視察交流会は、参加した方にとって大変充実した1日になったのではないかと感じます。施設のポイントや技術を聞きながら、今までになかった視点で視察することができました。また、意見交換会では主に仕事を続けながら出産、育児を行うことについて、悩みや疑問点を共有し、受けられる制度や経験について交流を行いました。今後もこのような交流を通じて、少しでも悩みを解決できる機会につながればと思いました。

今回の視察交流会を開催するにあたり、関西電力(株)今渡ダム水力センター、国土交通省中部地 方整備局新丸山ダム工事事務所・木曽川上流河川事務所の皆さまに多大なご協力をいただきました。 深く感謝申し上げます。



【丸山ダム前、新丸山ダム建設予定地前にて集合写真】



【今回いただいたカード…陸閘(りっこう)※2 カード、ダムカード、ダムカレーカード】

※2 河川などの堤防において、通常は生活のために通行できるよう途切れており、増水時はゲートなどにより閉塞できる施設



### <中部支部>

# 2019 年度第 4 回支部会および意見交換会

日 時:2020年2月8日(土) 13:00~16:30

場 所:(株)奥村組 名古屋支店(名古屋市中村区)

参加人数:9名(うち正会員7名、サポーター2名)



中部支部では今年度第4回目となる支部会と、サポーターを交えた意見交換会を開催しました。 支部会では、2019年度の活動報告や2020年度の活動計画などを中心に話し合い、その後は、 中部支部としては初めての試みとなる、サポーターとの意見交換会を開催しました。

## 1. イベント概要

◆主 催: (一社)土木技術者女性の会 中部支部

◆内 容: 支部会、サポーターを交えた意見交換会、新年会

### 2. 詳細

当会のサポーターである岡本利朗氏((株)パスコ(岐阜大学 客員教授)、中村光氏(名古屋大学大学院工学研究科 教授)を交えて、「女性技術者の印象や業務を進めていく上での悩み」や「女性や若手の入職や仕事を継続するために」をテーマに、男性から見た女性のイメージや、海外の女性技術者の話、また当会がこれからできることなど、予定時間をオーバーするほど大変有意義な意見交換を行うことができました。

中部支部で初めての試みでしたが、サポーターよりアドバイスもいただけてとても良い意見交換会でした。さらに、手伝えることがあれば手伝いたいと話をいただき、有意義な場となりました。

最後に場所を移動した新年会では、食事をしながらざっくばらんにワークライフバランスや業務の進め方、自身の業務内容など、多岐に渡るトークで盛り上がり充実した時間を過ごしました。



【意見交換会の様子】

### <中部支部>

# 2020 年度第 1 回支部会

日 時:2020年8月2日(日)9:30~12:00

場 所: オンライン会議(zoom) 参加人数: 10 名(うち会員 10 名)

報告:高木 美香(中部支部)

中部支部では 4 月に支部会の開催を予定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルスの影響にて延期となっており、今回はオンライン形式にて支部会を開催しました。

## 1. イベント概要

- ◆2020 年度総会の報告
- ◆2021 年度総会(中部支部開催)準備について
- ◆今後の支部活動について
- ◆意見交換会

## 2. 内容と感想

2021 年度開催の総会についてが主な議事内容となり、役割分担等を話し合いました。新型コロナウイルスのことを考慮しながらどう総会を開催するか様々な案が出ました。

最後の意見交換会では、コロナ禍での働き方が話題に上がりました。実際にテレワークを経験して分かった苦労や実情、それぞれの会社のコロナ対応等を話す機会となり、あっという間の 2 時間半でした。新型コロナウイルスが流行し始めて以降、公私ともにイベント等が中止となり人と会って話す機会が激減しています。このような中でオンラインを活用して交流することができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。実際に会うことはできなくても、画面上で顔を見て話すことができ距離が近く感じました。今後もオンライン形式のイベント等が開催されると思うので積極的に参加してコロナ禍でも楽しく過ごしていきたいと思います。



【支部会の様子】

#### 〈編集後記〉



### 藤代祥子(編集長/中部支部)

今回は、総会や九州支部の設立、サポーターコーナーや全国の活動を掲載しました。総会をはじめ Web の活用が進んだことは、今後も所属支部はもちろん全国の活動に参加できる機会が広がりますね。また仕事上でも、在宅勤務などそれまであまり進まなかった働き方の多様化が進んだことは良かったのではないでしょうか。ただ所々で聞こえてくるように、直接会って話ながら活動もしたい。コロナへの認識がただの風邪やインフルエンザ程度に

落ち着き、会える機会も増えることを望みます。いろいろな考え方がありますが、私自身は、自分や大切な人の与えられた時間が分からないなか、会える機会を減らし過ぎてしまうのは後悔しないことなのだろうかと考えてしまいます。ウイルスで発症しないような身体に整え、『密(親しさ)』や『縁』を大切にしたいと思う今日この頃です。



### 西村和恵(北海道支部)

今回の担当部分はデリケートな内容だったため、戸惑いながら編集しました。ご協力いただいた方々に感謝いたします。



### 生野静香 (東日本支部)

本号では、いくつかのイベントで zoom 等が活用されている様子が紹介されています。いまだ終息の目処がつかないコロナですが、他支部のイベントや講習会に参加できる機会が増えたことは、利点だと感じました。でも、やっぱり会いたいですね! 2021 年は笑顔で皆さんに会える年となりますように!!



### 熊本好美(東日本支部)

皆さまの決意表明を拝見し、お忙しい中積極的に会の活動に取り組まれる姿勢にとても刺激を受けました。多くを勉強させていただき自身も成長していきたいと思います。



#### 岡本茉莉(中部支部)

コロナにより会員の皆さまになかなかお会い出来ない日々ですが、輪に掲載されている 写真で知ったお顔を拝見すると安心します。来年の中部での総会で皆さまにお会い出来 るようになることを願っております。



#### 角崎由貴子(西日本支部)

今回から「輪」編集委員として活躍いただきました! 今後も西日本支部の活動などを皆さんに知っていただけるよう、いろいろと紹介してもらう予定です。(by 藤代)



#### 高橋典子(九州支部)

編集委員になってはじめての輪が発行されます。九州支部に興味を持っていただける ような記事を書き綴れるように頑張ります。

# 「輪」への投稿・ご意見は「輪」編集委員へ、 その他のお問い合わせ、ご意見は事務局まで、お願いします。

「輪」編集委員:rin@womencivilengineers.com

事務局:infoswce@womencivilengineers.com

## 【「輪」編集委員】

【事務局】

藤代祥子(編集長/中部) 西村和恵(北海道) 佐藤亜紀子(事務局長)

生野静香(東日本) 熊本好美(東日本) 〒150-0002

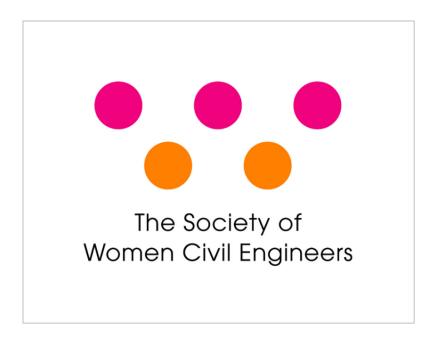
岡本茉莉(中部) 角崎由貴子(西日本) 東京都渋谷区渋谷三丁目1番9号矢沢ビル4階

高橋典子(九州) TEL 050-3738-4975

https://www.womencivilengineers.com

「輪」2020年度 秋号(第68号)

2020年 12月 24日発行 一般社団法人 土木技術者女性の会 The Society of Women Civil Engineers



一般社団法人 土木技術者女性の会 「輪」 2020 年度 秋号(第68号)